

宣教師は価値ある存在、それとも.....?

JEMA (jema.org)

伝道者の書 4章 9-12節

二人は一人よりもまさっている。二人が労苦すれば、良い報いがあるからだ。(9節)

伝道者の書 10:9-10

(9) 石を切り出す者は石で傷つき、木を割る者は木で危険にさらされる。

(10) もし斧が鈍くなったとき、その刃をとがないと、もっと力がある。しかし知恵は人を成功させるのに益になる。

箴言 27:17

17 鉄は鉄によってとがれ、人はその友によってとがれる。

宣教師は日本人教会の働きを活性化します。宣教師は熱意があり、新しい人を引きつけます。しかし、うまくいかずに双方とも落胆する場合も多々あります。

特典・プラス

- 情熱
- エネルギー
- 創造的な考え方
- 無料の労働者
- 国際的な友情・交際
- 魅力的な評判
- 伝道的なアクティビティ(数え切れない程)
- など

難しい点・マイナス

- 頑固
- 時間とエネルギーが掛かる
- 異文化間の問題(誤解など)
- 考え方
- 奉仕の哲学
- コミュニケーション(一般的に)
- 短期的(場合による)

「大きな成功は、コツコツ努力した結果である。」

協力のための基準の3ポイント

- 1) 良いスタートを切る (今日の主な課題)
- 2) 努力 (整備すること)
- 3) うまく終えること

良いスタートを切るための大事な課題

- 知り合うこと
- 信仰の背景
- 奉仕の背景、資格、経験など
- 賜物、興味、好き嫌い
- 特に楽しめる奉仕、特に楽しまない奉仕
- 教会と奉仕のゴール
- など

良いスタートを切るために(知り合うこと)

- 勉強になる話し合い (ディスカッション・両側・お互いに)
 - 大事にされていると感じさせることは?
 - 尊敬されていると感じさせることは?
 - 私が価値があると思わせることは?

良いスタートを切るために(期待)

- 家族の役割
- 休み(誰の決断)
- 呼び方、称号(先生、牧師、宣教師、兄弟、姉妹、伝道師、さん、など)
- 献金(後でもっと詳しく説明します)
- タイムライン
 - 何年間居る?(少なくとも・長くとも)
 - 帰国休暇(デピュテーションなど)
 - 居ることや、引っ越しなどは、誰の決断(上司か?本人?Visa?、など)
 - *宣教団体の宣教師か? テントメーカーか?

良いスタートを切るための話し合い(教理的)

- 儀式:洗礼式、聖餐式、洗足式、結婚式、葬式、など
 - 誰が行うか・誰ができるーできないこと (牧師、兄弟姉妹、宣教師、など)
 - 儀式に参加できる方? (聖餐式の参加、洗礼ーいつするか?、など)
 - 儀式にいつ参加できるか? (聖餐式の参加、洗礼ーいつするか?、など)

良いスタートを切るための話し合い(経済の哲学)

- 献金
- 10分の1献金
- 教会の予算は宣教師の活動に頼っている? (例:英会話など)
- 宣教師の活動による収入はどの会計に入れる?
(例:英会話、スポーツクラス、サークル活動、料理教室、など)
- 報連相・アカウントビリティ

良いスタートを切るための話し合い(奉仕のための期待)

- 主な責任
- 定期的な責任(日々)、スケジュール、など
- 連絡を遠慮して欲しい時
 - 定休日
 - 何時前か、何時後か、など
 - 連絡先(教会、自宅、携帯)

良いスタートを切るための話し合い (奉仕のための期待)

お互いのスケジュール(自ら)

例:どこに居るか?ほとんどわからなかった

これは信頼関係の土台の一つ

良いスタートを切るための話し合い (奉仕のための期待)

- 一つの教会のみで奉仕する?
 - たまに、定期的に、他の教会
他の奉仕などでもよろしいか?
- 終わり方の戦略
 - なるべく詳しく話し合い
 - 定期的に話し合い
- コミュニケーションは大事!!!
 - 十分することはない
 - いつ?、なぜ?、誰?、どういうふうに?、など

努力的に整備すること

宣教師が考慮すること。。

***基本的に、牧師はその教会を出ないわけです。**
(牧師は、責任を背負うですから。)

努力的に整備すること (チームワークの戦略:「期間で試す!」)

- 宣教師が提供できること(例え)
 - 試してみたことの失敗の責任をとってあげる。
 - 試してみたことが、成功の場合はそれを牧師に譲る。
(*リスクマネジメント)

努力的に整備すること(続き) (チームワークの戦略:「試しに!」)

- 牧師が提供できること(例え):
 - 試すことに対する余裕
 - 譲られた成功や、褒められることを分かち合う
 - 立てあげ合う(Win-Win / Bless-Bless)

努力的に整備すること (宣教師から)

(実例的な例え)

- 宣教師は教会が牧師を大事にすることを説き示すこと。
 - 例:牧師家族を大切する(本人、奥さん、子供)
 - ありがたい気持ちの言うこと
 - 休ませること
 - 応援すること(精神的、霊的、金銭的、など)
 - * 牧師家族のための記念会、感謝の日など
- 牧師は宣教師の有効性を明らかにしてくれる。
 - 同労者として認めると思ってくれる。
 - 観点が違っても同様のチームメンバー
 - 会議などに参加させる

努力的に整備すること (信頼関係を作る道具)

- 話し合いの中で、なるべく使わない言葉:
 - みんなは、いつも、無理
宣教師:母国では、前のところでは、
牧師:我々日本人、日本人皆んな、日本では
- 代わりに、**先に尋ねる**こと。そのときには、使って良い言葉:
 - 母国では、日本では、先生は、自分のお考えは

努力的に整備すること (信頼関係を作る道具)

- お互い:十分なコミュニケーションを持つこと
(ところで、説明や、理解し合うために話してみる前に批判や怒る権利はありません。)
- 目的は～悟り合い、愛し合い(聖書)、聞き合い、協力し合い～
そして、お互いの得点や、賜物などを認めながら用いる。
- 例:持ち寄り食事会

危機管理

- 危機管理の最も大事な点は:

「最良の危機を管理するのは、危機になる前に、危機にならないよう予防することです。」

- 色々な調査により、教職者がやめてしまう理由の中で最も多いのは?
(同奉仕者と人間関係の問題です... 特に宣教師同士)

聖書による当たり前なこと(祈り合い、愛し合い、優先し合い、許し合いなど)を除き、最も効果的な予防策?
(コミュニケーション)

危機とは?

- この文脈では:
 - 意見の違い、傷つけること、陰口、誤解、妬み、紛争、嵐など
- 問題が起きるかどうかわけではなく、むしろ、起きた時にどうする?
(例:銀行口座)

危機管理

起きる前に話し合い、決めること:

- 難しい話を、比較的受け入れやすい方法は?
 - SMS、メール、電話、直接話し合い、第三者により、など

マタイ 18:15-20

文脈的に罪のためですが、実際的に良いパターン

疑問:「... 行って、二人だけの所で責めなさい...」に対して～

- > 文字通りの意味しかない?
- > 日本の文化に合わせて、第三者でも文脈的に同じ?
- > 第三者でも大丈夫であれば、事前にその人を決めておく

必ず、目的とするのは、解決を通して親しくなることです。

マタイ 18:15 には、どう語られていますか?

「。。あなたは、兄弟を得たのです。」

ところで、神様はどれほどこのことを大事になさっていますか?

イエス様ご自身の指示:

マタイ 5:23-24 「。。祭壇の上に供物をささげようとしているとき、もし兄弟に恨まれていることをそこで思い出したなら。。(ほっといて)
。。出て行って、まずあなたの兄弟と仲直りをしなさい。。。」

ヨハネ 13:35 (イエスが語られたこと)

「互いの中に愛があるなら。。私の弟子であることを。。認められる」

危機管理 (コミュニケーション)

- 誤解、傷ついた、疑問などの場合。。
 - 悪く思う前に聞く
 - 想像する前に聞く、または、確認する。

• 一つの注意点

- 「空気を読む」こと
日本語のレベル高い(≠)空気が読める

宣教師の熱心な情熱の中で、文化的な重大なミスを起こす場合があり、嵐になり、福音宣教に支障をきたしてしまいます。

- 宣教師の責任は、日本の文化を粘り強く勉強する事を決意すること。
- 牧師へのお願いは、日本の文化を強制するより、わかりやすく教えてもらうこと。
 - (忍耐、恵み、思いやり、などをよろしくお願いします。)

危機管理 (コミュニケーション) ～ 基準のこと

- 必ず確認する!(聞いた事をくり返し言う、リピートの習慣)
 - 尋ねられていること、聞かれていること
 - 答えてもらうこと
 - 指示、説明など

いずれの人間関係でも良い習慣ですが、特に異文化間の関係

危機管理の大事なこと

「転ばぬ先の杖」

- 危機が根付かないように。。噂、陰口を絶対受け取らない
(当然参加や、することはしない)
- 出来事が起きた時に、主な目的は解決とする。
更に解決を通して親しくなったり、信頼関係の礎(いしずえ)とする。

覚えて欲しいこと:

大抵、宣教師が居るのは、自分(牧師)と同じく召しを与えられて、導かれてまいりました。どうしても日本では、神様のしもべとして奉仕させていただくのは、特権であり、へり下りを持って、日本で神の御国を広げるために、そして、日本のキリスト教会に仕えさせていただきたいと、心からしっかり思います。

そして、あなたの牧会しておられる教会の成長、成功のために努力し、協力させていただきたいと思います。

成功のために準備すること(实际的)

- 祈りあい
- 話し合い
- 聞き合い(一口二耳)
- 意図的に励まし合い
- 遊び合い(家族としても)
- 休ませ合い
- 尊敬し合い(特に人の前で)

要約・結論

- お互いに仕え合えば、仕え合うほど、共に群れにうまく仕えさせていただくことが出来ると思います。それがなければ、羊たちはすぐにわかります。
- 祈り合い、励まし合い、守り合い、強め合い

二人は一人よりもまさっている。二人が労苦すれば、良い報いがあるからだ。(9 節)
伝道者の書4 章9-12 節51

なぜ。。
完全な神様は、
我々不完全な者であっても、
完全な御計画を果たすために用いてくださるか、
わからないですが、
へり下りを持って、
心から感謝いたします!
AMEN!

これからも、ご協力をお願い致します。